安全データシート

1. 製品および会社情報

製品の名称	: カビノケール
製品コード	: 90553000
会社名	: フジワラ化学株式会社
住所	: 〒799-1342 愛媛県西条市大新田94
担当部門	: フジワラ化学株式会社　社長室
作成者	: 矢野正徳
電話番号	: 0898-64-2421
FAX番号	: 0898-64-4034
E-mail	: info@fujiwara-chemical.co.jp
緊急連絡先	: 担当部門に同じ
製品の種類	: カビ洗浄剤
推奨用途及び使用上の制限	: 外装のカビ洗浄用

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性		
金属腐食性化学品		: 区分1
急性毒性	経口	: 区分外
	経皮	: 区分外
	吸入:ガス	: 分類対象外
	吸入:蒸気	: 分類できない
	吸入:粉塵, ミスト	: 分類できない
皮膚刺激／腐食性		: 区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		: 区分1
呼吸器感作性		: 分類できない
皮膚感作性		: 分類できない
生殖細胞変異原性		: 区分外
発がん性		: 区分外
生殖毒性		: 区分外
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)		: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)		: 分類できない
吸引性呼吸器有害性		: 分類できない
水生環境有害性(急性)		: 区分1
水生環境有害性(慢性)		: 区分1

【GHSラベル要素】

・



危　険

【危険有害性情報】

・金属腐食のおそれ
・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
・呼吸器への刺激のおそれ
・水生生物に非常に強い毒性
・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

安全データシート

【注意書き】

(安全対策)

・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・取扱い後は手をよく洗うこと。
・屋外又は換気の良い場所で使用すること。
・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
・環境への放出を避けること。
・酸性物質と混合しないこと。

(応急措置)

・皮膚に付着した場合:直ちに多量の水で洗うこと。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗い、直ちに医師の診断を受けること。
・吸入した場合:新鮮な空気の場所に移動し、医師の診断を受けること。
・飲み込んだ場合:口をすすぎ、無理に吐かせず医師に連絡すること。
・漏出した場合:適切な保護具を着用して回収すること。

(保管)

・容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管すること。
・酸、金属、可燃性物質等から離して保管すること。

(廃棄)

・内容物や容器を国、都道府県、市町村の規則に従って適切に処理すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
一般名	: 次亜塩素ソーダの水溶液
官報公示整理番号(化審法)	: (1)－237
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表物質
CAS番号	: 7681－52－9
成分及び含有量	: 次亜塩素酸ソーダ (有効塩素　6．0%以上)

4. 応急措置

吸入した場合

・直ちに新鮮な空気の場所に移動させる。
・呼吸しやすい姿勢で安静にする。
・呼吸困難、咳、喉の痛み等がある場合は直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

・汚染された衣類、靴等を直ちに脱ぐ。
・多量の水で十分に洗い流す。
・皮膚に異常がある場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合

・直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。
・コンタクトレンズは容易に外せる場合は外す。
・直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

・直ちに清水で口の中を洗浄すること。
・無理に吐かせない。
・意識がない場合は口から何も与えない。
・直ちに医師の診断を受ける。

(応急措置をする者の保護)

・酸との接触により塩素ガスが発生する可能性がある。呼吸器への影響に注意すること。

安全データシート

・適切な保護具(保護メがね、防護マスク、手袋等)を着用すること。
・換気を行うこと。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水[○]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[　　]

使ってはならない消火剤

・棒状放水

火災時の特定危険有害性

・不燃性であり、それ自体は燃えないが、加熱されると分解して腐食性及び／または毒性の塩素ガスを発生させる恐れがある。
・火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生させる恐れがある。

特定の消火方法

・火災が発生した場合は、火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火すること。
・状況に応じて、自給式呼吸器等、各種保護具を着用して消火すること。
・可能ならば、容器を火災区域から移動すること。

消火を行う者の保護

・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用すること。
・通常の火災時と同様有毒ガスの吸引を避けるため、可能な限り風上から消火すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

・暴露防止措置の項の記載保護具を着用し、眼、皮膚、粘膜等に触れないように作業すること。
・十分な換気を確保すること。
・漏出区域への立入りを制限する。
・保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
・ミストやガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

・公共用水域に流れないよう留意すること。
・河川、下水道、土壌への流出を防止する。
・大量漏出の場合は関係機関に連絡する。

除去方法

・少量の場合は、乾燥砂、土等に吸収させ回収すること。
・多量の場合は、盛土で囲い流出防止措置を行った後、空容器に回収すること。

二次災害の防止策

・付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備すること。
・床面にこぼしたまま放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるため注意すること。
・漏出物の上をみやみに歩かないこと。
・酸との接触は塩素ガスを発生させる恐れがあるので注意すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱上の注意

・取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
・粉塵の発生を避け、作業場の換気を十分に行うこと。
・保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
・取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをすること。
・換気の良い場所で取り扱う。
・皮膚、眼、衣類への接触を避ける。

安全データシート

・ミストの発生を防止する。
・酸、アンモニア、還元剤等との混合を避ける。
・容器から他の容器へ移し替える場合は、適切な材質の容器を使用する。
・作業場所に洗眼設備及び洗浄設備を設置する。

保管上の注意
・直射日光を避け、通気の良い室内(5～30℃)で、容器を密閉して保管すること。
・酸類、金属類、可燃性物質等と隔離する。
・長期間保管すると有効塩素濃度が低下する可能性がある。

安全な容器包装材料
・製品使用容器に準ずる。
・硬質塩化ビニル等の樹脂系か、又は内面に耐食材料をコーティングしたものを使用すること。
・ゴム製は長期間では膨潤するものがあり、注意すること。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度　　：設定されていない
許容濃度　　：設定されていない
設備対策
・蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気を設置すること。
・取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具
呼吸器の保護具
・ハロゲンガス用の防毒マスクの着用が好ましい。
手の保護具
・不浸透性保護手袋(ゴム手袋)の着用が好ましい。
眼の保護具
・ゴーグル型または側板付き保護眼鏡の着用が好ましい。
皮膚及び身体の保護具
・ゴム長靴、不浸透性保護衣の着用が好ましい。

9. 物理的および化学的性質

状態	：液体
色	：無色～微黄色透明
臭気	：刺激臭あり
pH	：アルカリ性
融点	：情報なし
凝固点	：情報なし
初留点/沸点	：加熱により分解する:次亜塩素酸ソーダ
引火点	：なし
爆発限界下限	：情報なし
爆発限界上限	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
密度(比重)	：1.05g/cm^3以上
溶解度	：冷水に溶解
n-オクタノール／水分配係数	：情報なし
発火点	：なし
その他	：情報なし

10. 安定性および反応性

安全データシート

反応性	: 通常の保管・取扱条件では安定であるが、徐々に分解する。
安定性	: 熱、光、金属等の影響により分解が促進される。 有効塩素濃度が低下する。
危険有害反応可能性	: 空気、熱、光、金属等には不安定で徐々に有効塩素を失う。 酸との接触により有毒な塩素ガスを発生する。 アンモニア及びアンモニウム塩との反応により有害なクロラミン類を生成する可能性 金属と反応し、腐食するおそれがある。
避けるべき条件	: 酸との混触を避けること。 高温、直射日光、長期保管 金属との接触
混接危険物質	: 酸類 アンモニア 還元剤 一部の金属類 有機物
危険有害な分解性生物	: 加熱により塩素ガスを発生するおそれがある。 塩素 塩素酸塩等
その他の危険性情報	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
局所効果(皮膚、眼など)	
皮膚腐食性	: 長時間の接触で皮膚炎、湿疹を起こす可能性がある。 吸収による全身中毒はほとんど起こさない。
皮膚刺激性	: 長時間放置しておくと低度の刺激性を示す可能性がある。
眼刺激性	: 眼に入ると激しい痛みを感じる。
感作性	: 情報なし
慢性毒性／長期毒性	: 情報なし
がん原性	: 情報なし
IARC	: 認定されていない(グループ3に分類)
NTP	: 認定されていない
日本産業衛生学会	: 認定されていない
変異原性	: 小核試験で陰性(IARC,1991、IUCLID,2000)
催奇形性	: 情報なし
生殖毒性	: 経口投与による試験で影響なし(IUCLID,2000)
その他	: 情報なし

12. 環境影響情報

移動性	: 情報なし
残留性・分解性	: 水中で徐々に分解する
生体蓄積性	: 情報なし
生態毒性	
魚毒性	: 水性生物に有害 LD50=59mg/L/96hr(アメリカヤナギバエ) LD50=52mg/L/96hr(小エビ)
その他のデータ	: 情報なし

安全データシート

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- 取扱い及び保管上の注意の項での記載による他、一般的な注意事項を守り行うこと。
- 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理すること。
- 洗浄水等の排水は、重亜硫酸ソーダ等で中和処理した後、所定の処理により清浄にしてから排出すること。(酸で中和してはならない。)

汚染容器および包装

- 空の汚染容器、包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理すること。

14. 輸送上の注意

共通事項

- 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認すること。
- 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 重量物を上積みしないこと。

陸上輸送

- 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送

- 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- 航空法に定めるところに従うこと。

国際法規制

- 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従うこと。

国連分類及び国連番号

- クラス8(腐食性物質)、番号1791(次亜塩素酸塩溶液)、品名(HYPOCHLORITE SOLUTION)

容器等級

- Ⅱ又はⅢ

15. 適用法令

- 消防法　：第1類酸化性固体、次亜塩素酸塩類(法第2条第7項・別表第1・第1類、危険物令第1条)【5　次亜塩素酸塩類】
- 労働安全衛生法　：危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号)【3の6　その他の次亜塩素酸塩類】
- 毒劇物法　：該当しない
- 船舶安全法　：腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)【【国連番号】1791　次亜塩素酸塩(水溶液)】
- 航空法　：腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)【【国連番号】1791　次亜塩素酸塩】
- 火薬取締法　：該当しない
- 高圧ガス保安法　：該当しない
- 化学物質管理促進法　：該当しない
- 海洋汚染防止法　：有害物質　C類物質(15%以下)(政令別表第1)
  有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)【196　次亜塩素酸ナトリウム溶液】
  個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)
  【【国連番号】1791　次亜塩素酸塩(水溶液)】
- 道路法　：車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)【5　次亜塩素酸塩類】
- 港則法　：その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の

安全データシート

	種類を定める告示別表)【2ヌ　次亜塩素酸塩(水溶液)】
水道法	: 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号) 【36　ナトリウム及びその化合物】
水質汚濁防止法	: 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)【11　次亜塩素酸ナトリウム】

16. その他の情報

主な引用文献

- (社)日本塗料工業会編 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」 改定初版
- (社)日本塗料工業会編 「製品安全データシート ガイドブック」 第4版 追補版
- (社)日本塗料工業会編 「MSDS用物質データベース」 第4版 追補版
- 化学工業日報社 「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「化学品別 適用法規総覧」 増補新版
- 化学工業日報社 「実務者のための化学物質等法規制便覧」 改定第2版
- (社)日本塗料工業会編 「塗料原料便覧」
- 化学工業日報社 MSDS用語集
- NITE[独立行政法人 製品評価技術基盤機構] http://www.nite.go.jp/index.html
- 日化辞Web[独立行政法人 科学技術振興機構(JST)]
  http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html
- 原材料メーカーのMSDS

[注意]

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではありませんので、取扱には十分注意して下さい。また、新たな情報を入手した場合や従来説の訂正により内容に変更が生じることがあります。
本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者の責任において安全性の確認を行って下さい。